

長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 優秀

私たちができること

長岡市立三島中学校

三年 山田 楓

皆さんは、税金が何に使われて、未来にどうつながるのか考えたことがありますか。税金は、物を買う時の消費税や、土地を所有している際にかかる固定資産税などで私たちは一生で多くの金額を払うことになります。

その使い道にも、様々なものがあります。例えば、ごみの処理や災害の復興支援などに使われています。これらは、目に見えてすぐに効果のあるものです。対して、すぐには効果がありませんが、とても大切な使い道の一つに教育があります。

公立学校に通う生徒は、一年間あたりに、一番少額の小学生でも約八十万円かかるといわれ、一番多額の中学生は、約百万円もかかるといわれています。この他に、校舎の維持や建設、教科書代を合わせたら、学校で勉強をするためには、とても多くのお金がかかることが分かります。ここで使用されるのが税金です。

まず、年に一度配布される教科書は、無償で提供されています。一度で何教科も配られるので、とても大きな金額になります。無償配布の費用として、新潟県では年に四六三億円が使われます。

次に、校舎などの建設や修理などにも、この税金が使用されています。私たちの学校には少し前にエアコンが付き、最近では学習のためのタブレットが設置されました。私たちが快適に勉強するため、年に七七三億円が使用されています。

ここから分かるように、私たちが学校で勉強するために、大変多くの税金が使われています。私達は、この大きな支援に対して、どのようなことができるでしょうか。

配布された教科書の裏に、このような記載があります。「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。」というものです。

これからの日本は、私たちが担っていきます。私たちには、これからの未来につなげていくための勉強をひたむきに行うことが今できる最大の恩返しだと思います。そして、大人になったとき、社会の一員として学んだことを生かして、次の世代のために税で応援することが必要だと思います。こうして、未来へバトンをつなげることが、税金を通して明るい未来をつくることだと思います。

まだ私は中学生で、税金を通じた応援をうけています。いつかそれを返せるように、日々学校生活に全力で取り組んでいきたいです。